

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-42362 (P2019-42362A)

【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2017-170927 (P2017-170927)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 19 日 (2019.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、
 遊技者が接触不可能に設けられ、原点位置から進出位置に動作可能な第 1 可動体と、
 遊技者が接触可能に設けられ、原点位置から進出位置に動作可能な第 2 可動体と、
前記第 2 可動体が原点位置にあるか否かの監視を行う監視手段と、を備え、
 第 1 条件が成立したことにもとづいて前記第 1 可動体の動作を制限し、
 前記第 1 条件とは異なる第 2 条件が成立したことにもとづいて前記第 2 可動体の動作を
 制限する、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
 遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機など）であって、
 遊技者が接触不可能に設けられ、原点位置から進出位置に動作可能な第 1 可動体（例えば、
 第 1 演出可動体 3 0 0 など）と、
 遊技者が接触可能に設けられ、原点位置から進出位置に動作可能な第 2 可動体（例えば、
 外部可動体 8 1 0 など）と、
前記第 2 可動体が原点位置にあるか否かの監視を行う監視手段と、をを備え、
 第 1 条件が成立したこと（例えば、原点復帰の動作回数であれば 3 回に到達したこと、
 原点復帰の動作期間であれば 3 0 秒に到達したことなど）にもとづいて前記第 1 可動体の動作
を制限し、
 前記第 1 条件とは異なる第 2 条件が成立したこと（例えば、原点復帰の動作回数であれば 1 0 回に到達したこと、
 原点復帰の動作期間であれば 1 0 0 秒に到達したことなど）にもとづいて前記第 2 可動体の動作
 を制限する、
 ことを特徴とする。

この構成によれば、適切な可動体の制御を行うことができる。